

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場会社名 曾田香料株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 4965 URL <http://www.soda.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中地 俊朗

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門長 (氏名) 中島 直文

TEL 03-5645-7340

四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,773	△25.5	229	△68.9	202	△72.8	109	△75.6
21年3月期第1四半期	5,062	—	738	—	743	—	446	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	10.91	—
21年3月期第1四半期	44.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	18,798	11,869	62.2	1,170.64
21年3月期	18,336	11,626	62.7	1,150.66

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 11,702百万円 21年3月期 11,502百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	—	10.00	—	8.00	18.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	7,400	△27.3	350	△76.5	300	△80.0	150	△83.5	15.00
通期	16,500	△10.9	1,000	△52.0	900	△56.8	500	△60.1	50.02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 10,000,000株 21年3月期 10,000,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 3,508株 21年3月期 3,508株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 9,996,492株 21年3月期第1四半期 9,997,290株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月11日発表の業績予想は修正していません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年の米国発金融危機に端を発した世界的景気後退により極めて厳しい状況下であり、企業の在庫調整が進展し、輸出と生産が下げ止まりつつあるものの、雇用・所得環境は急速に悪化しており、企業収益や設備投資も回復の兆しが見えず、経済環境の先行きは依然厳しい状況にあります。

香料業界におきましても、国内市場の売上は伸び悩んでおり、販売競争が激化するなかで、消費者の低価格志向を背景として最終製品価格も低下しており、厳しい環境が続きました。

このような状況下、当社グループは収益改善に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化してまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間は、昨年同期以降の世界的景気後退の影響を強く受けた合成香料・ケミカル製品の大幅販売量減とそれに伴う生産調整による製造原価アップ等により、売上高は3,773百万円（前年同期比25.5%減）、営業利益は229百万円（同68.9%減）、経常利益は202百万円（同72.8%減）、四半期純利益も109百万円（同75.6%減）となりました。

（注記）当社グループは、単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、事業の種類別セグメント情報はありません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産残高は18,798百万円となり、前連結会計年度末と比較して462百万円増加しました。これは現金及び預金の増加208百万円、受取手形及び売掛金の増加375百万円、固定資産の減少112百万円などによるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債の残高は6,929百万円となり、前連結会計年度末と比較して218百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金の増加143百万円、短期借入金の増加100百万円、長期借入金の増加400百万円、未払法人税等の減少206百万円及び賞与引当金の減少212百万円によるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は11,869百万円となり、前連結会計年度末と比較して243百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加124百万円と評価・換算差額等の増加74百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は62.2%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して208百万円増加し、2,928百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは△247百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は283百万円（前年同四半期は417百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が200百万円、減価償却費が170百万円となり、また法人税等の支払額が294百万円となったこと及び各種引当金の減少とその他の流動負債の増加などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は530百万円（前年同四半期は197百万円の使用）となりました。これは主に、ケミカル製造設備等の有形固定資産の取得による支出529百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は409百万円（前年同四半期は599百万円の使用）となりました。これは、借入金の調達500百万円と配当金の支払い79百万円及び少数株主への配当金の支払い10百万円によるものです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、曾田香料（昆山）有限公司他1社は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の今後の見通しにつきましては、当第1四半期連結会計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、現段階では平成21年5月11日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,928,995	2,720,889
受取手形及び売掛金	3,972,225	3,596,801
商品及び製品	1,502,706	1,759,880
仕掛品	2,028,861	1,924,562
原材料及び貯蔵品	1,408,835	1,250,829
その他	332,859	340,299
貸倒引当金	△9,515	△3,289
流動資産合計	12,164,968	11,589,973
固定資産		
有形固定資産	5,105,208	5,158,281
無形固定資産	123,921	122,135
投資その他の資産	1,404,839	1,466,434
固定資産合計	6,633,969	6,746,852
資産合計	18,798,937	18,336,826
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,816,709	1,673,086
短期借入金	1,100,000	1,000,000
未払法人税等	100,529	307,225
賞与引当金	197,206	409,356
役員賞与引当金	2,912	11,297
その他	1,034,119	999,108
流動負債合計	4,251,477	4,400,074
固定負債		
長期借入金	700,000	300,000
退職給付引当金	1,796,761	1,825,724
役員退職慰労引当金	91,860	156,614
その他	89,261	28,375
固定負債合計	2,677,883	2,310,714
負債合計	6,929,361	6,710,788

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,000	1,490,000
資本剰余金	1,456,855	1,456,855
利益剰余金	8,730,077	8,605,209
自己株式	△2,361	△2,361
株主資本合計	11,674,571	11,549,702
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	107,678	74,307
繰延ヘッジ損益	△12,328	△25,058
為替換算調整勘定	△67,601	△96,391
評価・換算差額等合計	27,748	△47,143
少数株主持分	167,256	123,477
純資産合計	11,869,576	11,626,037
負債純資産合計	18,798,937	18,336,826

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	5,062,997	3,773,693
売上原価	3,347,093	2,587,398
売上総利益	1,715,904	1,186,294
販売費及び一般管理費	977,621	956,647
営業利益	738,282	229,647
営業外収益		
受取利息	2,775	587
受取配当金	5,824	4,315
持分法による投資利益	1,901	—
その他	2,732	2,305
営業外収益合計	13,233	7,208
営業外費用		
支払利息	3,768	4,240
債権売却損	2,568	240
休止固定資産減価償却費	—	25,408
その他	1,552	4,920
営業外費用合計	7,889	34,810
経常利益	743,626	202,045
特別損失		
固定資産除却損	1,908	1,496
特別損失合計	1,908	1,496
税金等調整前四半期純利益	741,718	200,549
法人税等	295,219	87,018
少数株主利益	—	4,459
四半期純利益	446,499	109,070

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	741,718	200,549
減価償却費	158,330	170,043
のれん償却額	—	4,090
固定資産除却損	887	1,496
持分法による投資損益(△は益)	△1,901	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	581	3,236
賞与引当金の増減額(△は減少)	213,786	△212,486
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,415	△8,385
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14,404	△93,717
受取利息及び受取配当金	△8,599	△4,903
支払利息	3,768	4,240
売上債権の増減額(△は増加)	△450,528	△192,282
たな卸資産の増減額(△は増加)	△246,558	90,301
仕入債務の増減額(△は減少)	459,041	96,697
その他の流動負債の増減額(△は減少)	—	487,841
その他	108,871	28,300
小計	983,386	575,024
利息及び配当金の受取額	24,066	4,171
利息の支払額	△3,768	△1,176
法人税等の支払額	△586,109	△294,678
営業活動によるキャッシュ・フロー	417,574	283,341
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2,465	△2,503
有形固定資産の取得による支出	△183,141	△529,172
無形固定資産の取得による支出	△12,374	△600
その他	903	1,312
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,077	△530,963
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△500,000	100,000
長期借入れによる収入	—	400,000
配当金の支払額	△99,980	△79,973
少数株主への配当金の支払額	—	△10,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△599,980	409,913
現金及び現金同等物に係る換算差額	466	5,825
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△379,016	168,116
現金及び現金同等物の期首残高	2,949,677	2,720,889
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	39,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,570,660	2,928,995

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当社グループは単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	580,498	543,147	190,689	61,339	1,375,674
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	5,062,997
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	11.5	10.7	3.8	1.2	27.2

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	681,427	130,163	41,174	54,166	906,932
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	3,773,693
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	18.1	3.4	1.1	1.4	24.0

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア…中国、韓国、台湾
- (2) 欧州……スイス、英国、フランス
- (3) 北米……米国
- (4) その他…南米、オセアニア

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。